

スポーツ健康都市宣言 40 周年記念

令和5年度 第37回 船橋選手権サッカー大会実施要項

- 1 主催 船橋市サッカー協会 第4種委員会
- 2 目的 サッカーの試合を通じて少年・少女の交流・親睦を図る。また、試合を通じてサッカーの技術の向上、指導者の審判技術、指導技術の向上を図る。
- 3 期日 6/10・7/1・7/8 予選リーグ 予備日7/15
7/17 準決勝トーナメント 予備日7/23
7/23 決勝トーナメント 予備日7/29
- 4 会場 市内小学校他、割り振り年間計画による。
- 5 参加対象児童・チーム数（参加56チームを上限とする）
※56チームを越えて参加チームがあった場合は、1登録団体に2チーム以上申し込みをしているチームの内、6年生がより多くメンバー登録しているチームを優先する。
（ア）船橋市サッカー協会第4種委員会に登録したチームに所属し、常時活動をしている6年生以下の児童
（イ）船橋市サッカー協会第4種委員会に個人登録を済ませていること
（ウ）大会当該学年未満の単独チームの参加は認めない
（エ）複数チーム参加可 複数チームエントリーしたチーム間のメンバー変更は5名までとする
- 6 表彰 1位から3位まで賞状・トロフィー メダル 優勝カップ（持ち回り）
優秀選手賞 参加各チーム2名
- 7 大会ルール 別紙
- 8 組み合わせ・大会方法
（1）全市のオープン大会。予選リーグ、準決勝トーナメント、決勝トーナメント 8人制
- 9 閉会式 日時 令和5年7月23日（日） 場所 タカスポ
雨天時 令和5年7月29日（日） 場所 二和小学校
- 10 その他
（1）閉会式はベスト4進出チームが参加する。
（2）本大会は、暑熱下の大会であるので、全試合で試合中にクーリングブレイクを設けること。

船橋市少年サッカー（8人制）競技規則

1. 参加対象児童 大会要項に明記

2. 試合時間

- ・40分（前半20分―休憩5分―後半20分）とする。
- ・引き分けの場合、決勝戦のみ5分の休憩後半5分―後半5分の延長戦を行う。
それでも決まらない場合は、5人ずつによるPK戦を行う。（以下サドンデス）

3. 順位の決定

- ・順位の決定は勝ち点により行う。
（勝ち：3点 引き分け：1点 負け：0点）
- ・同じ勝ち点の場合は、①得失点差②総得点③対戦結果④PK戦により決定する。
- ・3チームリーグで、3チーム同点PKの場合、試合の最後まで待たないで、決定した時点ですぐに行う。
1回PK戦をやって決着がつかない場合は、決まるまでPK戦を繰り返す。
- ・トーナメントでの引き分けの場合は、5人ずつによるPK戦を行う。以下サドンデス

4. 選手の人数

- ・試合成立人数は6名とする。
☆試合途中で試合成立人数が欠けた場合でも試合を続行する。
（怪我をした選手が復帰できそうであれば試合を止めて、復帰するまで待つ。）
- ・選手の登録人数は自由とし、選手の交替人数及び交替回数に制限はない。

5. ルール

- ・令和3年／4年の日本サッカー協会競技規則に準ずる。ただし、PKは8m
- ・フリーキック、コーナーキックは7m離れる。コーナーアークは半径1mとする。

6. 使用球・選手の服装等

- ・4号ボール（合成皮革も可）
- ・スパイクは固定式（裏が金属のものは不可）
すね当てを着用すること
- ・ユニホームは正副2着を用意し、同色の場合は事前に両主将により、主審トスで決定する。（ストッキングも色違いをそろえる。ビブスの着用を認めない。）
- ・アンダーシャツ、アンダーショーツは主たる色と同じにする。

7. 不戦勝、不戦敗の場合は以下の通りにする。

不戦勝・・・勝ち点3 得点6 不戦敗・・・勝ち点0 失点6
なお、試合開始時刻に無断で20分以上遅れた場合は、不戦敗とする。

8. その他

- ・警告・退場の累積を行う。警告の累積2枚もしくは退場になった選手は、次の1試合に出場できない。また、累積は大会終了時点で消滅し、次大会に持ち越さない。
- ・全試合クォーリングブレイク（前後半の10分経過時）を採用する。

大会共通留意事項

- 会場校は、割り当てられた会場の日程がおさえられない場合、他のチームに交渉し結果を競技部長に会議7日前までに連絡する。
- 荒天により大会実施を見合わせる場合は、AM6：30に判断し、協会のホームページの掲示板で連絡する。電話で問い合わせる場合は、競技部長に連絡を入れる。
- 各チームの責任者は選手のマナー、応援のマナー（保護者）、指導者の在り方について指導しておく。また、応援に来る方が近隣施設に駐車したりや路上駐車したりすることがないように指導する。
- 会場設営の手伝いについて、会場責任者より連絡があった場合は協力すること。
- 9：00キックオフの大会において、会場には7：45以降に入場を厳守すること。**
- 平成25年度より学校敷地内すべて禁煙となっている。会場校に迷惑にならないようにマナーの徹底を図る。また、会場周辺の禁煙を心がける。
- 会場に迷惑がかけられないよう選手に指導する。（ゴミ・花壇に入らない等）
- 1チーム2名以上の審判を帯同していること（ミニサッカー大会は1名以上の帯同）。審判服は黒を着用のこと。
- 帯同審判は、審判IDカードを会場責任者に提示して、資格取得者であることの確認をうける。忘れた場合は、その日の試合が終わるまでに取りに帰り、会場責任者に提示する。提示できない場合は、その日の対戦をすべて不戦敗（0-6で負け）扱いとする。ただし、試合結果が（0-6）よりも相手チームに有利になる場合は、試合の結果を採用する。（**スマートフォン等の不具合でIDが呈示できない場合も含む**）
- 帯同審判は、千葉県で取得した審判IDカードを提示しなければならない。他県で取得した場合、千葉県サッカー協会に第2登録を行う必要があり、その際に発行される許可証を他県で取得したIDカードとともに提示しなければならないので必ず行うこと。第2登録を行っていない他県の審判IDのみの提示の場合、帯同審判とみなさず、試合での審判は行えないため、審判ID未提示と同じ処分とする。
- 各チームは自チームの第1試合開始30分前までに、本部でエントリーチェックを受ける。その際、選手登録証とプログラムでチェックを受ける（市民大会は選手登録証での確認はせず、プログラムのみで行う）。また、指導者1名がその場に立ち会うものとする。
- 各ブロックで勝ち上がったチームは、報告書をまとめて次の会場責任者に提出する。
- チームが棄権した場合でも、責任を持って割り当ての審判を行う。
- 怪我については、チームの責任において対処する。ただし、救急車が必要な場合など、会場責任者にその旨を確認し、会場責任者とともにその対処にあたる。救急車を呼ぶような怪我の場合には、会場責任者から競技部長に報告を行う。
- ベンチに入れる指導者（監督・コーチ）は3名までとする。
指導者がベンチ退席を審判に命じられた場合、次の1試合ベンチに入り、指示できない。
- ベンチへの各チームによる簡易テントの設営は安全に十分に注意し、設置してもよい。ただし、会場責任者の許可を得て行うこと。
- 雷が鳴ったらすみやかに審判は時計を止め、試合及びアップを中断させる。試合再開については大会役員と相談して決定する。（県からの通達）
- 選手のメンバー追加・変更の受け付けは、自チームの予選第1試合30分前とし、それ以後は受け付けない。（大会途中からの変更はできない）
- 閉会式は決勝会場で行う。（進行は競技部が行う。）
- 手洗い等の感染症対策を徹底する。
- 保護者観戦の制限は行わず、有観客試合で行う。（スタッフの人数制限も設けない。）